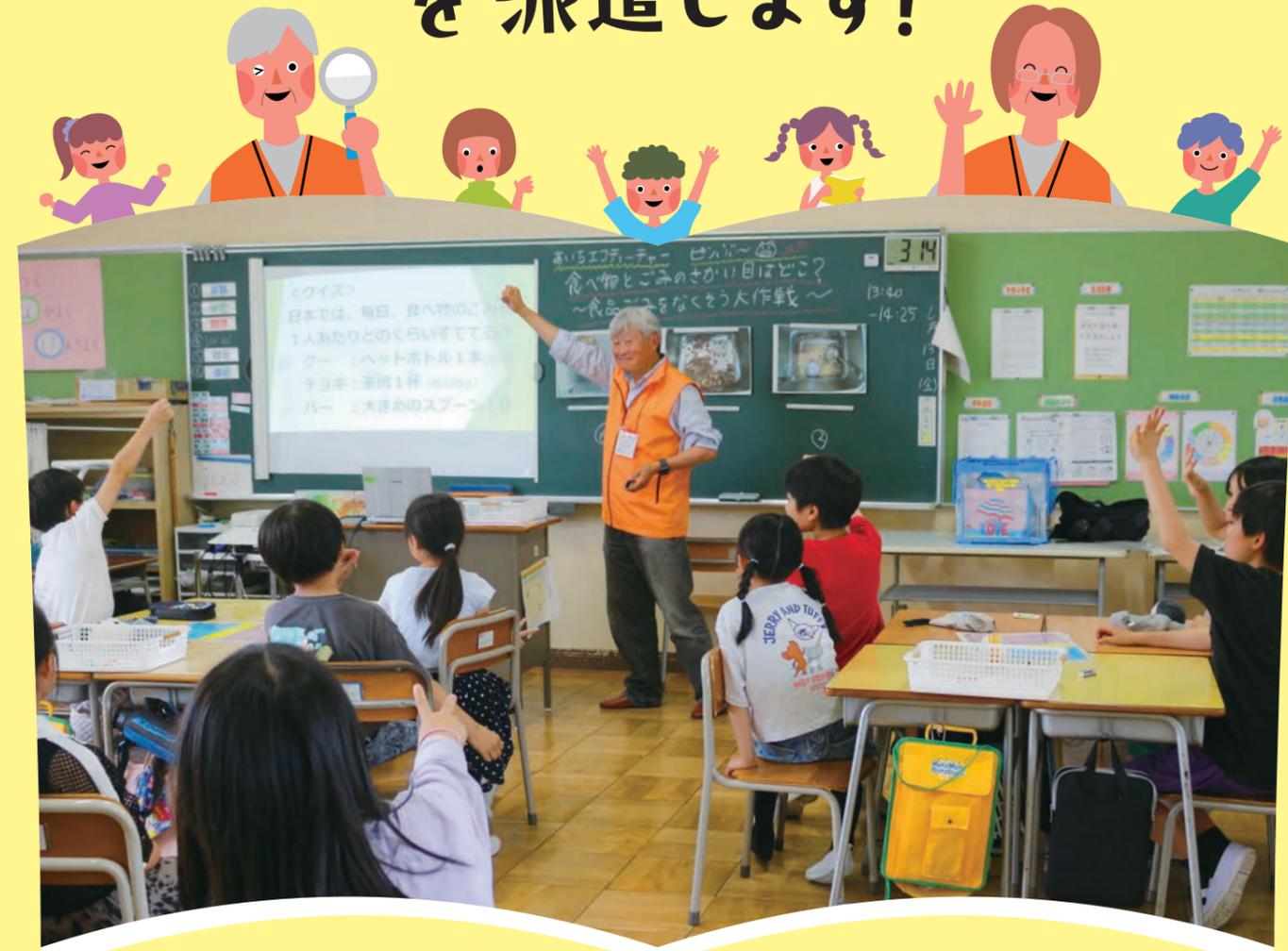


環境学習講師

あいちecoティーチャー[※]を派遣します!



公共施設主催の環境学習講座として

総合学習・社会科のゲストティーチャーとして

放課後児童クラブの夏休み行事として

- 対象** 愛知県内の小学生以上（小学4年生以上推奨）／各回10名以上・40名程度まで
- 所要時間** 45分程度（ご相談に応じます）
- 派遣先** 愛知県内小学校、環境学習施設、図書館、公民館、市町村講座・イベント、児童館、子ども会、放課後児童クラブ等
- 費用** 無料（回数に限りがあるため、年度途中で受付を終了する場合があります）

※「あいちecoティーチャー」は、愛知県が養成した環境学習講師です。子どもたちが環境について体験的に楽しく学べる講座を行います。



申込方法

申込フォームをご利用ください。
「あいち環境学習プラザ」Webページからも申込フォームにアクセスいただけます。



〈申込フォーム〉

1回の派遣ごとにご登録ください。
講師の調整等のため、申込みから派遣決定まで概ね1～2か月かかります。
時間に余裕をもってお申し込みください。



〈講座実施までの流れ〉

- 1 申込受付**
担当者より申込受付の連絡をします
※回数に限りがあるため、年度途中で受付を終了する場合があります。
※実施日時や実施形態についてご相談させていただく場合があります。
- 2 実施日時・講師の決定**
希望日時・講座内容にあわせて派遣講師を調整・決定します
※講師決定後、事前打合せの日時を相談させていただきます。
- 3 事前打合せ**
講座内容と当日の流れについて説明します
※会場の下見や、ご準備いただきたいものをお伝えします。
※講座実施に必要な資材はあいちecoティーチャーが用意しますが、プロジェクター、スクリーン等の機器については依頼者様にてご準備をお願いする場合があります。
- 4 講座実施**
実験やクイズを交えて楽しく学べる講座を行います
※講座開始の1時間前より準備の時間をいただいています。
※参加人数が10名に満たない場合は、実施を見合わせる場合があります。



- あいちecoティーチャー派遣講座 申込みに関する注意事項**
- ご応募いただいた方の個人情報は環境学習の実施目的以外には使用しません。
 - 実施日時・場所によっては、講師を派遣できない場合があります。
 - 政治活動、宗教活動及び営利活動を目的としないもののみ講師を派遣します。

問合せ

愛知県環境調査センター 企画情報部
あいち環境学習プラザ

TEL 052-908-5150 (平日9:00～17:00)
FAX 052-916-0516
Eメール kankyo-c@pref.aichi.lg.jp



派遣のほか、あいち環境学習プラザにおいて環境学習講座を行っています。
「あいち環境学習プラザ」Webページ
<https://kankyojoho.pref.aichi.jp/plaza/>





ごみのテーマ

今話題のプラスチックごみや食品ロスの問題をテーマにしています。

講座1 どこへいく？ プラスチックごみの真実！

〈目的〉

プラスチックのリサイクルの流れや、プラスチックごみが海に住む生き物に与える影響を体験を通して知ることにより、プラスチックごみ問題を自分事としてとらえ、減らすための行動を促します。

〈特徴〉

実際に愛知県内の海に捨てられていたプラスチックごみやマイクロプラスチックを観察することができます。

講座の流れ



① 導入

私たちの身のまわりはプラスチック製品であふれていることを知る。さらに、ペットボトルに焦点を当て、どのようにリサイクルされているかを学ぶ。



② 体験

県内の海岸で捨てられていたプラスチックごみの実物を観察した後、ごみの現状やごみが環境に与える影響を映像で知る。



③ ふりかえり

プラスチックごみの削減について自分たちにできることを、「今からやります!」宣言シートに記入し発表する。



講座2 食べ物とごみのさかい目はどこ？ ～食品ごみをなくそう大作戦!～

〈目的〉

食品ロス(食べられるのに捨てられてしまう食品)についてカードゲームなどで楽しみながら学び、普段の生活で食品ロス削減に取り組む意識を育みます。

〈特徴〉

色々な食べ物のカードから「食べられる?」「食べられない?」をグループで考えて、食品の大切さを知ることができます。

講座の流れ



① 導入

普段の生活で「食べられるのに捨ててしまうもの」がどのくらいあるのかなどをクイズを通して学ぶ。



② 体験

様々な食材のカードを用いて、食べ物と食品ごみのさかい目についてゲームを通じて考え、発表する。



③ ふりかえり

食品ロスを減らすために実践できることをエコアクション(環境に配慮した行動)シートに記入し、発表する。



水のテーマ

生活に必要な水や生活排水などをテーマにしています。

講座3 地球上の少ない水で キミは何する？

〈目的〉

節水することの大切さを実感するとともに、水を無駄遣いしないために何ができるかを考え、行動につなげます。

〈特徴〉

児童と協力して教室いっぱい広げる絵巻物を通して、1日に使っている水の量を視覚的に伝えます。

講座の流れ



① 導入

地球上にある水のうち、私たちが使うことができる水の量はとても少ないことを学ぶ。(講座3、5共通)



② 体験

普段の生活で水をどのくらい使っているかを発表してもらい、その量を絵巻物で示すことで、多くの水を使っていることを体感する。



③ ふりかえり

水を節約する工夫を考え、エコアクション(環境に配慮した行動)シートに記入し、発表する。



講座4 実験&コースターづくり ポタポタ!スー!節水大作戦

〈目的〉

実験を通して水道の水漏れ量を見る化し、節水するために何ができるかを考え、行動につなげます。

〈特徴〉

講座の最後に、コースターにエコアクション(環境に配慮した行動)を記入し、裏面には自由に絵を描いて持ち帰ってもらいます。

講座の流れ



① 導入

地球上にある水のうち、私たちが使うことができる水の量はとても少ないことや、水がどのように循環しているのかを学ぶ。



② 体験

普段の生活で水をどのくらい使っているかを考える。ペットボトルを使って蛇口からポタポタ水が漏れている状態を作り、どれくらいの量を無駄にしているのか実験する。



③ ふりかえり

節水方法を考え、コースターにエコアクション(環境に配慮した行動)を記入し、発表する。



講座5 水の惑星地球を救え! ぐるぐるトルネード実験

〈目的〉

普段の生活で水を汚していることを理解します。トイレに関する実験を通して、きれいな水をいつまでも使い続けるために何ができるかを考え、行動につなげます。

〈特徴〉

トイレトーパーとティッシュペーパーを使ったぐるぐるトルネード実験は子どもたちに大人気です。

講座の流れ



① 導入

地球上にある水のうち、私たちが使うことができる水の量はとても少ないことを学ぶ。(講座3、5共通)



② 体験

普段の生活で水を汚していることや、水が循環していることなどを学ぶ。ペットボトルを使って渦を起し、トイレにティッシュペーパーを流すとどうなるか実験する。



③ ふりかえり

水を大切にするために何ができるかを話し合い、発表する。



申込者の声

子どもたちが環境や節水に興味を持ち、考え、学ぶことができたと感じた。実験などの体験を交えながら進めていただけたのがよかった。
(放課後こども教室の担当者)

社会科で3Rを学んでいるところだったので、良いタイミングで講座を受けることができた。
(小学校4年生の担任の先生)

給食時に「残すと食品ロスになる」という声が聞こえてきたり、残飯を減らそうとする児童の姿が見られた。
(小学校4年生の担任の先生)

学校外の講師の方にお話しいただいたことで、子どもたちはより一層真剣に聞いたり考えたりすることができた。
(小学校4年生の担任の先生)

子どもたちが環境問題を自分のこととして考え、自分ができることを考える良いきっかけとなった。
(学童保育所の担当者)